

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 003	提案機関名 神奈川県 農業振興課
要望問題名 下水汚泥肥料の肥料試験について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 国では肥料価格の高騰を受け、未利用資源活用をすすめている。令和5年3月に、農林水産省・国土交通省の連名により農政部局と下水道部局で連携して下水汚泥の肥料利用を進める取組を行うよう通知があった。 本県においても下水道部局と農政部局が連携し、下水汚泥に肥料化について検討を進めるため、「下水汚泥肥料化検討会」を設置し、下水汚泥の肥料化について取り組むこととなった。 下水汚泥の肥料化に向けた取り組みとして、試作された下水汚泥肥料について栽培試験を行い、作物の生育状況及び収量調査を行い、慣行肥料との比較について研究願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	下水汚泥肥料は汚泥の回収方法や様々な二次処理により窒素やリン酸の成分含量や肥効が異なることが知られています。肥料が試作された段階で、取り組むべき試験内容を検討し、試験に取り組みます。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			